

3 C区市町村包括補助 令和8年度採択事業一覧

「全ての子供の笑顔を育み、チルドレンファーストの社会へ」及び
「望む人の「叶えたい」を支え、一人ひとりの自己実現を応援」のビジョンの実現

「心豊かに暮らし、いつまでも輝けるアクティブなChōju社会」のビジョンの実現

「支え合いの輪を拡げ、誰もが「つながり」を実感できる社会へ」のビジョンの実現

令和8年9月
東 京 都

子供（通常）区分

【採択事業一覧】

1	中央区	教育版マイクラフトを活用した子どもの意見表明ワークショップ事業	P 6
2	杉並区	子ども参画による子どもにやさしいまちづくりの推進	P 7
3	板橋区	次世代モビリティとこどもを軸とした板橋公園再整備事業	P 8
4	八王子市	『遊び方とマナーを重視した施設整備を通して、子供たちの公園への関心と関わりを深める公園環境整備事業』	P 9
5	三鷹市	三鷹幼稚園跡地を利活用した子どものための居場所づくりと子ども・若者相談機能の充実	P 10
6	小金井市	子どもの権利事業推進の充実（子どもの権利の日制定と普及啓発に向けた取組）	P 11
7	武蔵村山市	“かけがえのない一冊”の本と出会う機会をつくる！デジタルで広がる子供たちの読書環境の充実	P 12
8	神津島村	人と自然がツナガル公園等整備事業	P 13

【採択事業一覧】

1	墨田区	親子の笑顔があふれる交流の拠点となる公園整備事業	P 14
2	八王子市	「八王子鵲祭」及び「桑都ペイ」を活用した結婚応援事業	P 15
3	昭島市	快適な環境から始めるenjoy子育て支援	P 16
4	清瀬市	清瀬でつながる婚活支援事業～きよ婚～	P 17
5	大島町	未利用公共施設を活用した子ども・子育て支援推進事業	P 18

【採択事業一覧】

1	江東区	介護予防の普及・啓発に向けたDXの推進	P 19
2	北区	デジタル化による高齢者の居場所づくり・社会参加促進及び浴場コミュニティの活性化～地域共生社会の実現に向けて～	P 20
3	荒川区	図書館・郷土資料館における高齢者の居場所及び生きがいの創出	P 21
4	葛飾区	持続的な地域公共交通網の確保と高齢者の健康増進	P 22
5	国立市	図書館で健幸づくり！みんなのけんこうラボ	P 23
6	羽村市	デジタルとリアルで「学び」「つながり」、人生100年時代のウェルビーイング向上プロジェクト	P 24
7	神津島村	デジタルとウェルネスが融合する『つながり』の創出事業	P 25

【採択事業一覧】

1	世田谷区	若者と地域の多世代がつながる交流拠点と情報プラットフォームの有機的連携によるコミュニティ強化事業	P 26
2	中野区	～地域と共に育む若者の「安心」と「つながり」～若者居場所事業の充実	P 27
3	北区	「ヒト・モノ・コト」をつなぐ岩淵周辺地区かわまちづくり	P 28
4	小平市	多様な活動が重なり合う、新たな交流の拠点	P 29
5	檜原村	こころのケアを通じた地域の居場所づくり	P 30
6	神津島村	孤独をなくし『お互い様』を育む、まめに通える「地域の縁側」。多世代交流施設「（仮）まめらん家（ち）」整備事業	P 31

子どもが区政に対して意見を表明する場を創出することで、社会の一員としての主体性や区の子ども施策の実効性を高める

事業内容

◆オリエンテーション

- ・子どもの権利や地域の課題を子どもに理解してもらい、その解決策等についてグループで話し合い、意見を聴くオリエンテーションを開催

◆ワークショップ（全3回）

- ・**教育版マイクラフト**を活用し、**子どもの意見を可視化**するためのワークショップを開催
- ・具体的な地域課題に対し、子どもがグループでの対話を通じて解決策を**仮想空間上に構築**

◆フォローアップ（オンラインとのハイブリッド開催）

- ・成果発表会に向けて、**自由参加型のフォローアップ**を実施

◆成果発表会

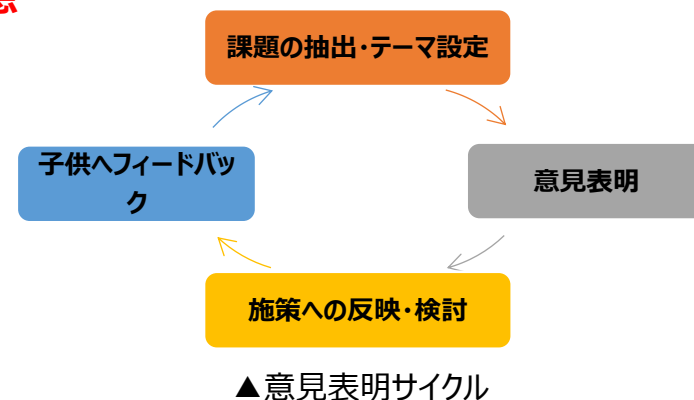
- ・教育版マイクラフトを活用し作成した作品を、**子どもがプレゼンテーション**
- ・子どもたちから寄せられた意見や解決策を**実際の施策検討プロセスに反映**



◀ワークショップの様子



教育版マイクラフトで再現した施設▶



スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
子どもの意見表明 ワークショップ(WS)の開催	WS開催 → 施策への反映等	WS開催 → 施策への反映等	WS開催 → 施策への反映等

「杉並区子どもの権利に関する条例」に基づき子どもの権利を普及啓発するとともに、
子どもの意見を聴き区の施策に反映

事業内容

◆子どもの意見聴取の取組

- 小学生から高校生世代を対象に、**対面×郵送×オンラインを組み合わせ**て意見を聴取し、区の施策に反映
- 令和9年度以降はさらに意見聴取の手法や内容をブラッシュアップ
→**子どもの意見聴取・反映・フィードバックの一連の流れの定着**



◆子どもの権利に関する普及啓発

- こどもまんなか月間を活用した**子どもの権利に関する展示やリーフレットの配布**等の**普及啓発を継続的に実施**



◆子どもの悩みを解決する相談・救済の仕組みづくり

- 子どもや子どもに関わる大人が安心して相談できる窓口環境を整備
- 活動報告会を実施し、**子どもの意見を窓口の運営に反映**

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
子どもの意見聴取の取組	手法構築		定着
普及啓発	リーフレット等の配布・研修等の実施		
相談・救済の仕組みづくり	子どもの意見を聴きながら検討	環境整備	運営



▲事業イメージ

次世代モビリティを導入した「板橋公園再整備」による交通体験の提供や、子供を中心とした多世代交流の場づくりを行う

事業内容

◆子供の意見を反映した公園整備

- ・子供を対象にヒアリング・ワークショップを実施
→整備内容や活用方法に子供の意見を反映

◆最新モビリティを活用した交通体験

- ・モビリティを核とした交通公園機能を強化
→子供を中心とした多世代交流の場づくりを実施

◆ブックバスを活用した読書体験

- ・ブックバスを導入し公園で読書に親しむ
→天候に左右されない「居場所」を創出し、身近な公園での読書・文化体験を提供



▲完成イメージ



▲グリーンスローモビリティ



▲ブックバス

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
板橋公園再整備	設計・工事（～令和9年3月） →		
モビリティの設計・製作	モビリティの設計・製作 →		
開園後運用		指定管理者による運営 モビリティを中心とした各種イベント →	

子供たちが安心して遊び、地域住民と気持ちよく共存できる持続可能な公園環境の整備を通じて、利用者一人ひとりが公共空間を大切に使う意識を育む

事業内容

◆遊びの実態に関するアンケートの実施、公園マナーを考えるワークショップ等の開催

- 公園における**遊び方や感じていることなどについて、子供たちを対象にアンケート**を実施
- 「どうすれば公園を気持ちよく使い続けられるか」「どのように遊べば他者と共存できるか」をテーマに議論
- 施設更新を契機とした、子供たちの**公園への関心の高まりと、主体的なルールづくりへの参加**



◆子供の遊びの実態・意見を反映した公園施設の更新・機能拡充

- アンケート調査やワークショップ等をもとに、利用状況、快適性、安全性に配慮した整備を実施
- リニューアルされた施設を題材に、子供が課題を発見し、解決策を考えるプロセスを重視
- 施設更新を**子供が公園の使い方を考える“きっかけ”**として位置づけ、次のワークショップにつなげる

▲参加した子供の意見を施設更新に反映
(イメージ)

◆子供の意見を反映した遊び方やマナーの策定と実践

- 子供の意見を反映した各公園に適したマナーやルール**を作成
- 子供たちが作成したサイン・ポスターを公園内に掲示し、お披露目イベントを通じて利用者全体に広げる

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
アンケート・ワークショップ	いちよう公園 七国公園	中散田公園 大塚公園	
公園施設の更新・機能拡充	いちよう公園 七国公園	中散田公園	大塚公園
ルール・マナーの策定・実践	いちよう公園 七国公園	中散田公園	大塚公園

子どもの声を取り入れた遊び・学びの場を整備し、相談機能を有した子どもの居場所を創出

事業内容

◆子どもの意見を反映した居場所づくり

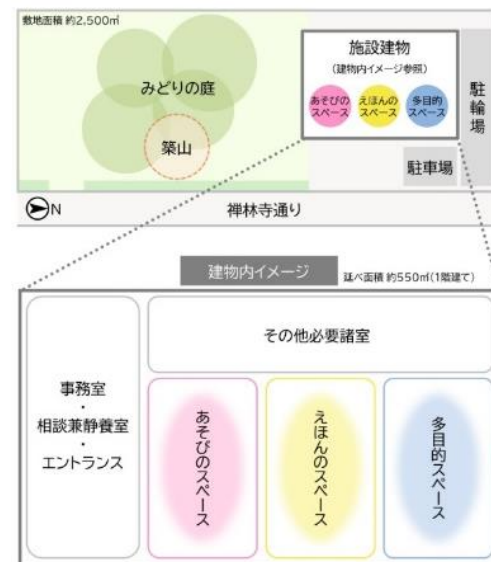
- ・施設の愛称や利用方法、活動について**子どもたちが話し合うワークショップ**を開催
- ・庭を活用したプレイパーク等、さまざまな体験活動を実施
- ・**子どもが安心してくつろぎ過ごせる環境を整備し、子どもの気づきや主体的な学びにつなげる**ため、教材や遊具、図書等を設置

◆相談機能の充実

- ・ユース世代の気持ちに寄り添い、主体的な成長、自立、社会参加を支援するスタッフを配置
- ・**関係機関及び関連団体と連携**し、適切な支援につなぐ

◆学習支援

- ・子どもや関係機関へのヒアリング等により**学習支援に関するニーズを把握**
- ・**さまざまなニーズに応じた学習サポート**を実施
- ・中高生世代を含めた子どもたちが、いつでも宿題や勉強ができる**学習スペース**を提供



▲施設整備イメージ

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
居場所づくり	基盤整備 ワークショップの実施 (子どもの意見聴取)	庭・屋内環境整備	
相談機能の充実	子ども・若者相談室における 個別相談及び予約相談 相談に関する研修 ケース検討等		
学習支援	学習スペースの提供 大学生ボランティア等による 学習サポート		

子どもの権利の日制定を記念したイベントを開催し、子どもの権利の普及啓発を促進

事業内容

◆「こどものまち」事業

- ・社会で働く体験を通じて、子どもが社会の主役として**まちづくりや社会の仕組みを学ぶ**事業を実施
- ・子どもが主体的に民主的なプロセスや権利を実感できる場を提供
- ・**子どもの権利尊重に向けた研究や意見聴取**の取組を実施

◆子どもの意見聴取事業

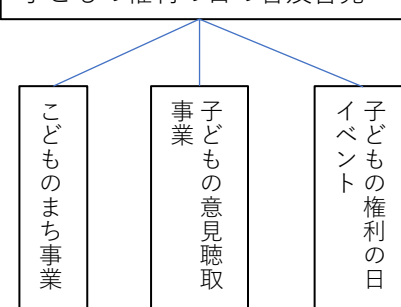
- ・意見聴取、意見表明の取組として、**中学生が様々なテーマについて意見交換**を行い、**成果を発表する**場を提供

◆子どもの権利の日制定イベント

- ・**子どもの権利の日を制定**し、記念イベントを実施
- ・**子どもの権利条例の周知や促進**のため、子どもの権利に関する普及啓発ブースの出展や市民講座を開催



子どもの権利の日の普及啓発



▲事業イメージ

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
「こどものまち」事業	本番・報告 ●	企画 → 準備 → 本番・報告 ●	企画 → 準備 → 本番・報告 ●
子どもの意見聴取事業	準備 → 本番 ●	準備 → 本番 ●	準備 → 本番 ●
子どもの権利の日制定イベント	準備 → 本番 ●	意見募集 → 準備 → 本番 ●	意見募集 → 準備 → 本番 ●

GIGA端末を活用した児童・生徒の読書環境の充実

事業内容

◆学校図書館システムの導入

- 学校図書室の蔵書をデータベース化し、蔵書管理等を行う**学校図書館システムを導入**

◆GIGA端末と学校図書館システムのミックス活用

- 児童生徒を対象に、**GIGA端末を活用した学校図書館システムのデモ会及び意見交換会**を実施
- GIGA端末を使用した本の検索やセルフ貸出等により、**探究学習及び読書活動を推進**
- 電子書籍やオーディオブックの導入により、多様なニーズに対応した**インクルーシブな読書環境を構築**

◆学校と市立図書館のソフト・ハード両面での連携

- 学校と市立図書館が連携**し、電子書籍等の活用促進に関する講座や意見交換会を実施
- システム連携**により、**GIGA端末から市立図書館の蔵書検索**が可能となる環境を整備



▲GIGA端末活用のイメージ



▲図書館職員による講座のイメージ

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
学校図書館システム	データベース化及び システム導入	利用 開始	
GIGA端末を活用した 読書環境の充実	意見聴取	活用 開始	
学校と図書館の連携事業	講座及び 意見交換会等の実施	図書館システムとの連携	

人と自然がつながり、新たな居場所としての機能を備えた「ハイブリッドな園庭（公園）」の創出

事業内容

◆「島民とツナガル園庭」の整備

- ・**子供の意見を反映した遊具**を設置するなど園庭を改修し、**子供が安心して遊べる環境を整備**
- ・園庭の一般開放を通じて、**多世代交流**と**地域コミュニティを醸成**

◆「自然とツナガル園庭」の整備

- ・園庭に菜園を併設し、島固有の**自然体験や地産地消を通じた学びの場**を提供
- ・星空保護区として園庭での**星空観察会を開催**
- ・地域の**防災拠点機能の充実**に向けて園舎の一部改修を行うとともに、ハザードマップを活用した**防災教室を開催**し、防災意識を醸成

▼現状



島民とツナガル

自然とツナガル

▼改修後イメージ



スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
調査・設計（整備含）	→		
公園整備		供用開始 →	
ブラッシュアップ整備		効果検証・ブラッシュアップ →	

身近な公園のリノベーションを通じて、子育て世帯が安心して過ごし、交流が促される居場所の創出

事業内容

◆子育て支援設備の充実

- ・大横川親水公園の管理棟「船形施設」の一部をパークセンターとして再整備するとともに、授乳室、おむつ交換台、休憩スペース、バリアフリートイレを整備
 - ・パークセンターと合わせ、周辺園地やローラーすべり台、幼児向け遊具を整備
- ⇒ **小さい子供連れの保護者が安心して公園に出かけられる環境を創出**



パークセンター周辺

◆公園施設の再整備による親子の居場所づくり

- ・大横川親水公園「魚つり場」をリノベーションし、サービスを充実
 - ・旧法恩寺橋児童遊園に、児童・幼児向け遊具を整備
- ⇒ **親子で気軽に安心して楽しめる空間の創出**



魚つり場周辺

◆民間活力を活用した交流機能の強化

- ・指定管理者制度の導入等を契機とした年間を通じた多彩なイベントの実施
 - ・SNS等を活用した積極的な情報発信
- ⇒ **交流と賑わいを創出し、子育て家庭のお出かけを後押し**

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
船形施設整備 (R9) 周辺園地整備 (R8-9)		R9 4月 - 8月工事 R8 11月 - R9 8月工事	
魚つり場整備	R8 9月 - R9 3月工事		
旧法恩寺橋児童遊園 遊具整備			R10 9月 - R11 3月工事

「TOKYO八結び」と連携した結婚応援事業を展開。産学官民が一体となり、縁結びイベントをはじめとした結婚支援・気運醸成に取り組み、結婚を前向きに捉える環境づくりを推進

事業内容

◆八王子鵲祭

- 令和8年8月8日に縁結びと幸運の象徴である「鵲(カササギ)」をモチーフとした「八王子鵲(カササギ)祭」を開催し、**マッチングイベントと交流イベント**を実施
⇒**出会いの機会を創出**



鵲祭会場 子安神社

◆「桑都ペイ」を活用した結婚応援事業

- 都主催の結婚支援イベントの市内開催の機会に、参加者にデジタル地域通貨（桑都ペイ）ポイントの付与と併せて市内のグルメマップ等を配布
⇒イベント後の**交流機会を創出し**、本市の魅力発信と**地域経済の活性化**を促進

◆令和8年8月8日結婚記念事業

- 令和8年8月8日に婚姻届を提出した方へ、**新生活や子育て等の施策情報を周知**
- オープン前の複合施設「桑都の杜」へ招待し、**家族となって初めての記念フォト撮影**を実施
⇒社会全体で**結婚をお祝いする気運を醸成**



鵲祭の様子

スケジュール	令和8年度
八王子鵲祭	準備・開催 →
「桑都ペイ」を活用した結婚応援事業	結婚支援イベント →
令和8年8月8日結婚記念事業	フォト企画 →

子育て拠点整備を通じ、地域でいきいきと楽しく子育てする環境を創出

事業内容

◆子育て支援拠点施設の整備

- ・教育福祉総合センター（アキシマエンス）に**ベビーケアルーム、健康遊具、かまどベンチ等の子育て支援備品や防災設備**を備えるとともに空調整備を実施
⇒親子ともに楽しく快適に過ごせる環境の創出



ベビーケアルーム



かまどベンチ

◆育児支援事業

- ・子供・若者世代の異年齢の交流を図るため、施設を活かした**健康づくりと食育イベントや講演会**を実施
⇒**子供・若者世代に楽しい子育てのイメージ定着**を図る

◆男性の家事推進及び防災に備えた子育て環境の整備

- ・男女共同参画週間に、**男性の家事推進に関するセミナー**を開催
- ・かまどベンチ設置後、近隣自治会や少年少女スポーツ団体と合同で炊き出し訓練を実施
⇒**男女が協力して家事育児に取り組む意識**や地域で育む子育ての気運を醸成



防災に備えた子育て環境の整備

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
子育て拠点の整備	ベビーケアルーム、遊具、かまどベンチ設置 →	空調機設置工事 →	→
育児支援事業	イベント、講演会等 →	→	→
男性の家事推進及び防災に備えた子育て環境の整備	炊き出し訓練、セミナー等 →	→	→

結婚や将来への不安を解消し、出会いの機会を広げるとともに結婚、定住へとつなげる

事業内容

◆情報発信

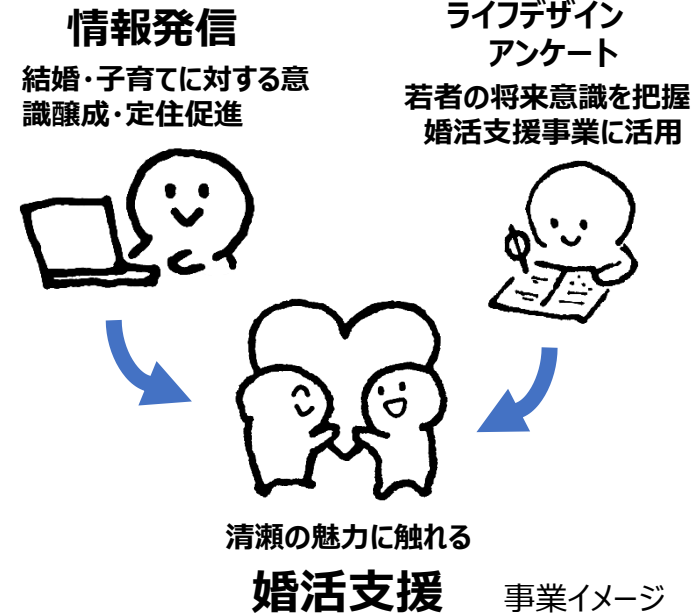
- ・共働き世帯のインタビュー、イベントレポート、婚活ワンポイントアドバイス等、結婚や将来設計に関する情報をホームページに掲載

◆婚活お悩み相談会・婚活交流イベント

- ・結婚希望者本人と親世代からの相談に対応した婚活お悩み相談会を実施
- ・婚活セミナーと参加者交流会で構成された**婚活交流イベントを開催**
- ・同イベント内で子育て支援制度の紹介やお土産として市の特産品を提供
⇒**出会いの機会創出に加え、市の魅力に触れる機会を創出**

◆ライフデザインアンケート

- ・20歳のつよい対象者に対し、結婚や将来のライフデザインに関する意識調査アンケートを実施
⇒アンケート結果について分析を行い、**今後の結婚支援事業等に活用**



スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
情報発信	随時実施		
婚活お悩み相談会 婚活交流イベント	準備・実施 準備・実施	準備・実施 準備・実施	準備・実施 準備・実施
ライフデザインアンケート	準備・実施	アンケート結果を踏まえ、情報発信	アンケート結果を事業展開に活用

未利用公共施設を子ども・子育て支援拠点として整備するとともに、子供が安心して過ごせる居場所の確保や子育て支援環境の充実を図る

事業内容

◆多機能な子育て支援拠点の整備

- 旧保育園を活用し、子供が放課後や休日に安心して過ごせるサードプレイス、授乳室や見守り付きキッズスペースを併設したコワーキングスペースを整備
⇒保護者の就業継続や多様な働き方の促進

◆子育て支援・相談機能の充実、交流拠点の強化

- 関係機関と連携し、子育て相談や子育て支援講座、ワークショップ等のイベントを開催
⇒子育て世帯の不安や孤立を解消

◆子育て世帯の将来不安軽減に向けた講演会・イベントの実施

- 民間事業者、教育機関等と連携し、地域産業やキャリア教育に関するイベントを開催
⇒島内外の学びやキャリア形成の見通しが得られ、子育て世帯の将来不安軽減



旧保育園



施設イメージ

スケジュール	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度
多機能な子育て支援拠点の整備	設計 → 工事	設計 → 工事	工事 → 開設
子育て支援・相談機能の充実、交流拠点の強化	検討会 → 意見交換会	試行実施 → ネットワーク形成 → 支援団体 設立準備	支援団体設立 → 事業開始 → 内容拡充・利用促進
子育て世帯の将来不安軽減に向けた講演会・イベントの実施	連携体制構築	プログラム企画 → 試行実施	仕組構築 → 事業開始 → 整理・横展開

LINEを活用し、介護予防情報などの発信、活動実績に基づく効果分析を行い、高齢者の健康と自立を促進

事業内容

◆LINEを活用した脳活ラボの実施

- ・LINEを用いて介護予防に関する情報、チェックツール等を発信
- ・認知機能トレーニングクイズやイベント検索等、多様なコンテンツを用意
- ・個人の活動状況に合わせたイベント情報などのプッシュ通知により、**介護予防活動を促進**
- ・インセンティブの提供により、**介護予防活動に対する意欲を向上**

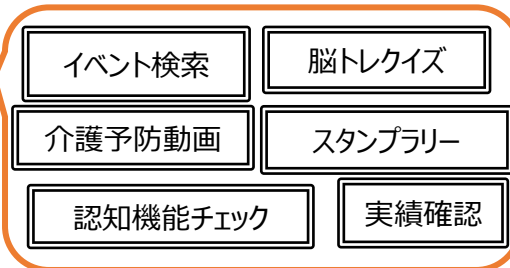
◆地元プロバスケットボールチームとの連携による事業PR

- ・高齢者を含む**幅広い世代の区民**を対象
- ・Bリーグ試合会場において、**脳活ラボや介護予防の重要性をPR**
 ➡体育館などでチアリーダー、マスコットキャラなどによるダンスなどの実演を通じてPRを強化

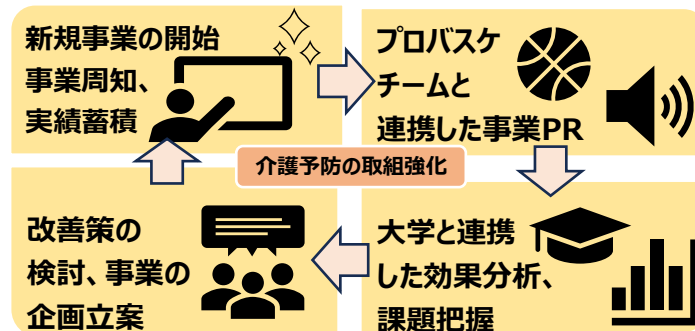
◆EBPMによる効果分析・事業への反映

- ・脳活ラボに登録している高齢者を対象に、日々の活動や、測定結果等を記録・蓄積
- ・状態変化の経過を把握し、その要因などを**大学と連携**し分析。
 本事業の**効果分析**や、**介護予防事業の見直し**を実施

＜脳活ラボの機能＞



＜EBPMにおける効果検証＞



スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
脳活ラボの構築	構築 → 運用	(改修)	(改修)
連携、イベント開催(★)	連携 ★	★ ★ ★	★ ★ ★
効果分析(★)・事業反映	蓄積		★

地域共生社会の実現に向けた取組として、入浴補助券のデジタル化を通じた利便性向上により、
身体活動や社会参加の機会を創出するとともに、公衆浴場に高齢者の居場所機能を拡充

事業内容

◆ 入浴券のデジタル化による高齢者の「キョウヨウ」※の機会促進

- 紙の入浴補助券を二次元コード付きカードに変更し、**スマートフォンからも利用可能**に
- 申請手続きの簡略化や紛失時の再発行も対応可能になり、利用拡大が見込まれる
⇒ これにより身体活動と社会参加を促進

※「キョウヨウ」プロジェクト:

人生100年時代の「いきがい」や「居場所」づくりとして、「今日」、「用」を作り、外出する機会や交流を創出し、
高齢者の活躍や元気づくりを応援するため、様々な事業に横ぐしをさせた北区における庁内連携プロジェクト

◆ 各公衆浴場及び浴場組合との連携による高齢者の居場所機能の拡充

- 浴場組合や各公衆浴場と連携し**公衆浴場の居場所機能を強化**
⇒ 関係機関等に対し**高齢者事業のニーズヒアリング**を行い、**健康器具の設置や健康寿命の延伸につながるプログラム**等の実施を検討。公衆浴場の機能拡充にもつなげる
- WEBアプリで区や浴場の事業周知を図り、健康意識の向上や社会参加促進を目指す

◆ 収集データを今後の事業に活用

- デジタル化により収集可能となる**浴場利用者の年齢、性別、地域別の利用状況を分析**
- 事業効果の測定と併せて高齢者の社会参加や生きがいづくりに寄与する事業に活用



スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
入浴補助券のデジタル化	システム構築 →	デジタル化の実施 →	→
高齢者の居場所機能の拡充	関係機関等へのヒアリング・協議 →	健康器具の設置 プログラム検討 等 →	プログラムの実施 等 →
事業効果測定・データ活用	デジタル化によるデータ収集準備 →	アンケート検討・データ収集 等 →	アンケート測定 データ分析・効果測定 →

図書館及び郷土資料館を一体的に活用し、生涯にわたり健康で心豊かに生きるための機会を提供

事業内容

◆ 高齢者をはじめとする利用者の居場所環境の充実

- ・大規模改修を契機に、図書館と郷土資料館が融合した区内唯一の施設として、両施設全体を一体的にとらえて活用することとし、これまで**一般開放していなかった地下階を全面開放**
- ・4階を新たに図書フロアとして開放し、図書フロア全体で閲覧席を充実
- ・昨今の猛暑が続く状況を鑑み、**クーリングシェルター機能を強化**
- ・高齢者をはじめとする利用者の居場所環境を充実



改修後の地下階イメージ

※現時点のイメージ案であり、変更の可能性あり

◆ 生涯にわたり心身ともに健康で心豊かに生きるための機会の提供

- ・居場所環境の充実等により、これまであまり施設を利用していなかった方の利用を促進
特に高齢者を中心に、心身ともに健康で心豊かに生きるための機会を提供
- ・区の**健康アプリ「あらチャレ」と連携**した史跡めぐり等の**イベント参加によるポイント獲得**
- ・デジタル機器に不慣れな高齢者向けの電子図書館利用促進講座の実施、シニア世代によく読まれる図書の充実、生涯学習事業の充実により、身体的な健康の確保のみならず、心豊かに生きるための生きがいづくりにつなげる

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
居場所環境の充実	大規模改修工事展示製作 →		リニューアルオープン (R10.7月～) →
生きがい創出のための機会提供			あらチャレ連携・電子図書館充実 (R10.7月～) →

交通とデジタル技術の活用で外出促進。社会参画を日常化し、健康で活躍できる長寿社会の実現へ

事業内容

◆グリーンスローモビリティの導入による高齢者の移動手段の確保

- ・高齢者等の移動手段を**地域組織が主体となって確保する共助の取組**
- ・**シニア層のボランティア**が携わり、生きがい・活躍・コミュニティの場を創出
- ・令和8年4月に運行ルートの一部変更し、利便性の向上を目指す
- ・東立石・東四つ木地域で2つのコースを、週2日ずつ運行中

グリーンスローモビリティ
の導入小型車両活用
デマンド交通の導入ウォークラリーコースの
設定で移動をもっと楽しくアプリ予約説明会で
スマホ操作の不安を解消モンチャレ
©SEKIGUCHI

健康アプリの活用

外出促進

フレイル予防

高齢者の
社会参画日常化

◆小型車両活用デマンド交通の導入による高齢者の移動手段の確保

- ・通常営業中のタクシーを活用した移動手段確保の取組
- ・令和7年10月から令和9年3月までエリアを限定して実証運行中
- ・利用方法やアプリからの予約操作説明会を開催
- ・区内他地域での運行展開を検討

◆健康アプリを活用した高齢者の外出促進・フレイル予防

- ・グリーンスローモビリティや小型車両活用デマンド交通運行地域での
ウォークラリーコースの設定
- ・**健康アプリ「モンチャレ」と連携**し、体操教室等の区内各地でのシニア活動にも**ポイント付与を拡大**

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
グリーンスローモビリティ本格運行 継続と他地域展開	本格運行	継続・他地域展開検討	
小型車両活用デマンド交通実証 (本格) 運行と他地域展開	実証運行継続	本格運行開始 他地域展開検討	
健康アプリポイント付与	実施		

通信環境、測定機器、情報コーナーを整備し、図書館を高齢者の心と身体健康づくりに寄与する地域の拠点に

事業内容

◆図書館の居場所機能・生涯学習機能の強化

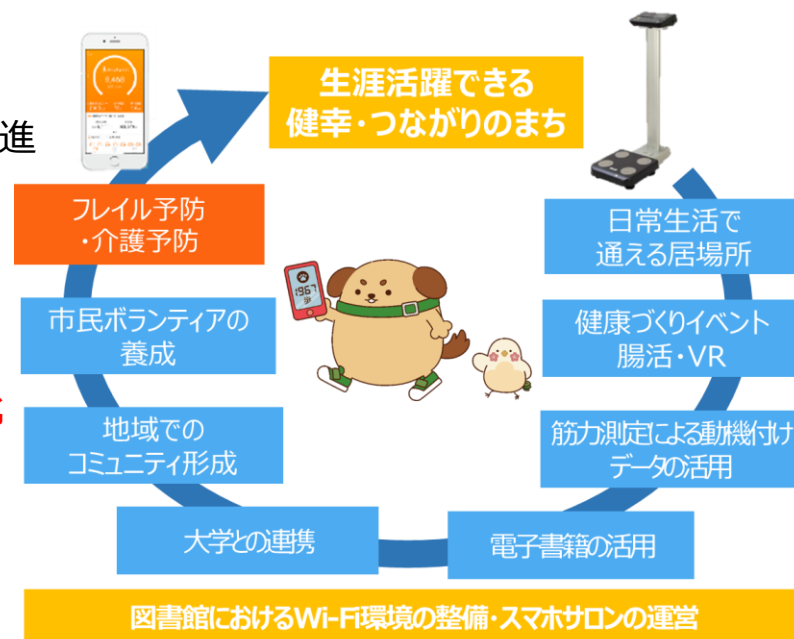
- ・ボードゲームなどを楽しめる「**交流ゾーン**」や月ごとにお題を設定し回答を提示する「**問いかけボード**」を整備し、相互交流を創出
- ・電子図書館の拡充やスマホサロンを実施し、デジタル機器の活用を促進
- ・各種ボランティアの担い手を発掘し、社会参加のきっかけを提供

◆高齢者の健康意識の醸成

- ・**測定により健康ポイントが付与**される体組成計、フレイル予防関連コーナーを設置
- ・健康増進につながる企画を実施し、**楽しみながら健康づくりを習慣化**（例）企業と連携した腸活講座、「VR吹き矢体験」等

◆大学と連携した評価モデルの構築

- ・一橋大学ソーシャル・データサイエンス学部と連携し、図書館における**居心地に関する調査・分析**を実施
- ・調査結果をもとに、他の地区の図書館における**居心地機能を強化**



スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
交流ゾーン・問いかけボードの設置	→	→	→
イベントの実施	→	→	→
評価モデルの構築	→	→	→

デジタルとリアルで知的好奇心を高め、学び合い、活躍できる場を創出 人生100年時代のウェルビーイング、セカンドライフを豊かに

事業内容

◆デジタルとリアルによる「学び」と「つながり」の場づくり

- ・**プロボノ・ボランティア人材**を掘り起こし、**支援希望の団体とマッチング・コーディネート**のためのネットワークを構築し、高齢者の新たな活躍の場を創出
- ・**大学や地域企業等との連携による生涯学習プログラム**を拡充
(例) マーケティング講座、クラフトワークショップなど
- ・スマートフォンを使ったデジタルスキル講座、eスポーツ講座を実施



「学び」と「つながり」の場づくり

◆デジタル活用の環境づくり

- ・Wi-Fi環境とインタラクティブモニターを整備し、主体的に学び社会とつながる環境を構築
- ・展示室を常時開放した「**クリエイティブラウンジ**」を整備し、新たな居場所空間を創出、利用者作成の映像を投影するなど、デジタル活用のモチベーション向上を支援



デジタルとリアルで
「学び」「つながり」
人生100年時代のウェルビーイング



デジタル活用の
環境づくり



施設の空間づくり



◆生涯学習センターと図書館の一体活用による公共空間づくり

- ・生涯学習センターの空きスペースを活用して、**フリーライブラリー**を設置
- ・植物の紹介や楽しみ方のパネル設置、育てた植物を活用したワークショップなど、**コミュニティガーデンでの交流**を通じて、緑を楽しみながら両施設を行き来できる屋外空間を整備

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
学びとつながりの場づくり	実態調査等 講座開催等	ネットワーク構築	
デジタル活用の環境づくり	Wi-Fi設置等	クリエイティブラウンジ設置	
一体活用の公共空間づくり	カフェデッキ一般開放 コミュニティガーデンイベント実施		

ウェルネス・デジタルを取り込んだ温泉保養センターのアップデートによる高齢者のQOL向上

事業内容

◆温泉設備の再整備とデジタル化

- 老朽化した既存井戸に代わる新規温泉を掘削するとともに、**温泉に関する各種センサー機器**を新規設置。湯加減センサー・混雑状況センサーなどの取得情報を島内に発信(CATVや島内放送等を想定)することで、温泉保養センターへの外出を促進



温泉保養センター

◆温泉保養センターのウェルネス施設化

- 高齢者の居心地の良い集い場とするとともに、温泉そのものの効果に加え、施設を利用することで**健康への意識付け・健康増進**を図る
- 各種デジタル健康機器を設置するほか、館内のバリアフリー化とともに**ウェルネスの観点を考慮したラウンジ/休憩スペース**を整備
- 地域包括支援センター等と連携して健康機器等利用状況を活用し、**フレイルの早期発見・早期介入**につなげる



デジタルを活用したウェルネス施設化

◆地域内外との交流促進による生きがい創出

- 温泉保養センター内のスペースには**大型スクリーン/モニター**を設置。臨場感のあるオンラインでつながることにより、外出が困難な方や他地域の方々とのリアルタイムの交流機会を創出
- eスポーツ等によるレクリエーション**を実施し、楽しみながらフレイル予防や健康増進を図る



フレイル対策事業イメージ

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
再整備・デジタル化	温泉掘削工事、動力ポンプ設置工事		情報発信開始
ウェルネス施設化	設計	改修工事	機材設置 効果検証
生きがい創出		eスポーツ等交流イベント、効果検証	

リアルとバーチャルの居場所が連動する多世代・地域コミュニティの強化

事業内容

◆若者と地域の多世代がつながる交流拠点の整備

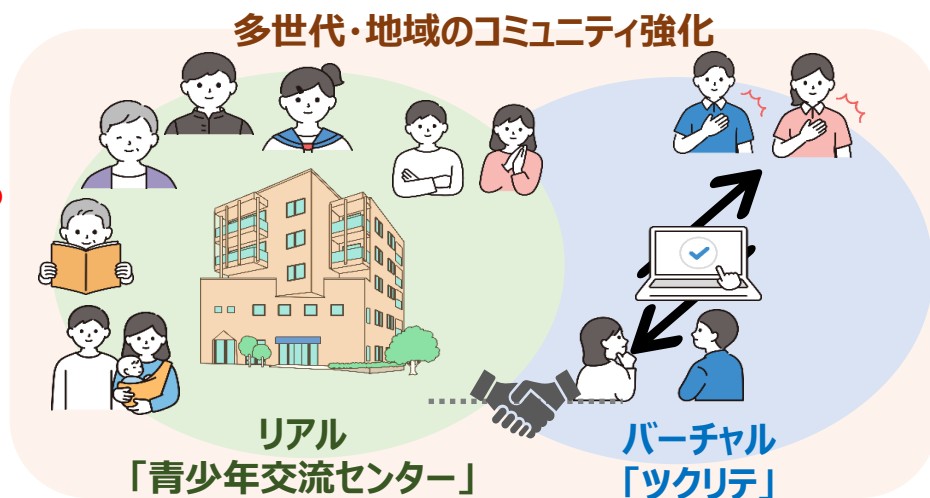
- ・誰もが安心して集うことのできる**多世代交流拠点として「青少年交流センター」**を開設
- ・若者が地域住民とつながり、地域の担い手となる事業を展開
- ・センター内に**地域住民が気軽に立ち寄り、多世代交流できる「多世代・地域交流ラウンジ」**を設置

◆情報プラットフォームを活用したつながりの創出

- ・地域活動に参加したい方と活動の主催者とのマッチングを行う**Webプラットフォーム「ツクリテ」**の構築・運営
- ・行政だけでなく、地域団体や民間事業者等にも参加を促し、幅広い分野のコンテンツを掲載

◆リアルの居場所「青少年交流センター」×バーチャルの居場所「ツクリテ」

- ・地域住民がゆるく語り合い交流できる**「ツクリテカフェ」**をセンター内でも実施
- ・「ツクリテ」の主催者、地域活動に参加した若者及び地域住民が**リアルとバーチャルでつながり、**多世代交流や地域コミュニティの活性化を図る



スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
交流拠点の整備	整備 →		運営 →
ツクリテの構築・運営	→	→	→
リアル×バーチャルの取組	準備段階での連携 →		本格的な連携 →

若者の実態調査・ニーズ分析による居場所事業の充実と多世代交流の促進

事業内容

◆若者の実態調査・ニーズ分析

- ・若者の生活状況や将来展望、孤独や悩みの状況・背景等の**実態を調査**
- ・調査結果をもとに、**必要な支援を分析**し、効果的な支援施策の立案等につなげる

◆若者フリースペースの充実により多くの若者が来たいと思える居場所へ

- ・子ども・若者支援センター内で運営している若者向け居場所「若者フリースペース」について実態調査の結果を踏まえ、若者が居場所に求めている**ニーズを把握**し、若者が実際に足を運びたいと感じられる居場所事業へと拡充
- ・開館時間の変更や、地域に出向く**「出張居場所」**を拡充
- ・若者フリースペースは、個々が自分のペースで過ごすことができる「マイスペース」と、**他者との交流が可能な「リビングスペース」**に区分し、若者と地域の大人の多世代交流を促進



▲若者フリースペース



▲地域ミーティングの様子

◆若者の居場所を通じた多世代交流

- ・**若者と地域の大人をつなぐイベント**を実施することで、若者を地域と結びつけ、若者の社会的自立の促進及び豊かな地域社会を実現
- ・若者フリースペースにて、地域の大人を対象にした**地域ミーティング**や**「はたらく大人と出会う会」**等のプログラムを定期的(3か月に1回程度)に実施
- ・若者と地域の大人が世代を超えて自然に関わり合い、居場所の枠を超えたつながりを創出

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
若者実態調査の実施	→		
出張居場所等の拡充	→	→	→
プログラムの実施	→	→	→

多様な活動や学びをかなえる地域の交流拠点として、訪れ、滞在したくなる「かわまちづくり」を推進

事業内容

◆多様なコミュニティ・世代をむすぶ拠点の形成

- ・ **荒川治水資料館(amoa)**等の地域資源を活かしながら、室内空間やテラスを整備し、多世代交流拠点を形成
- ・ 定期的なイベント開催で地域コミュニティや来訪者の交流機会を創出

◆「ヒト・モノ・コト」がつながる体制の構築

- ・ かわまちラボ(地域活動団体等で構成される推進部会)の強みを活かした**滞在プラン(パッケージプログラム)**を実施し、河川空間を活用した多様な活動や学びの機会を提供
- ・ **地域活動団体同士のネットワークを形成**するとともに、「北区政策提案協働事業※」を活用し新たな担い手を発掘・育成

※地域のさまざまな課題を、NPOやボランティア団体などと区が協働して解決していくための事業提案



荒川治水資料館 (amoa)
の活用イメージ



広場を活用したアウトドアイベント

春 地域の歴史と桜を愛でる「岩淵再発見」

朝～昼 子どもの水辺での自然観察会
昼～夕 アモアでの歴史学習
夕～夜 ライトアップ

夏 多世代で楽しむ「水辺の涼」体験

朝～昼 水上アクティビティ体験
あらかわ号乗船(ガイド付)
夕～夜 水辺で乾杯・ライトアップ

秋 学びと食の「かわまち回遊」

朝～昼 寺社巡り・歴史散策
昼～夕 RIVER SIDE FESTIVAL
(指定管理者自主事業と連携)
夕～夜 夜の生き物観察

冬 健康と絆を深める「温活」

朝～昼 バードウォッチング
昼～夕 北区版ウォーキングアプリの
コース体験、銭湯巡り

パッケージプランの一例

◆多様な活動や学びをかなえる空間の創出

- ・ 多様な活用ニーズに応じ、広場に**イベントスペースやベンチ等**を設け**新たな交流空間を創出**
- ・ 散策路や誘導サインの整備により、「かわ」と「まち」の回遊性をより高め、自然環境や治水の歴史、防災教育などの学びを可能とする空間づくりを行う

※工事工程は、国との調整により変更の可能性あり

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
拠点形成 (設計・改修)	実施設計(アモア)	改修工事(アモア)	拠点(アモア)の運用
体制構築 (ラボ運営)	協議・打合せ (推進検討会・ラボ)	ラボの検証 担い手の発掘	プログラムの運営
空間創出 (設計・整備)	推進検討会運営 実施設計 (広場整備)	整備工事(広場等)	整備工事 (広場・誘導サイン)

複数の機能を横断！地域の接点として、誰でも気軽に集え、話し合い、実現する「人と人がつながる居場所」の創出

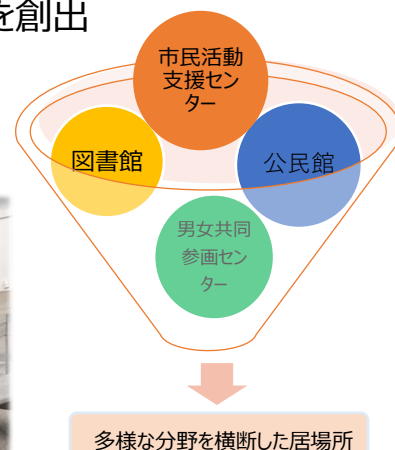
事業内容

◆市民の「やってみたい」実現プロジェクト

- ・多世代の交流や多様な活動が重なり合う拠点を整備し、図書館や公民館等の**複数の機能を集約**
- ・**仕切られていない空間を活かして分野横断的な取組を推進**
 <取組イメージ>
 みんなの会議、コミュニティカフェの定期開催、本や音楽を通じた地域交流、大学等と連携したワークショップ 等
- ・**常駐するコーディネーターが日々の交流やイベントの企画等を伴走**し、地域の新たなコミュニティを創出

◆誰もが自分の気持ちを気軽に話せる場の創出

- ・日頃の思いを気軽に話せる場を開催し、互いに尊重し合い受け入れられる居場所を創出
 <テーマ例> 性、若者、独身、夫婦のもやもや、ひきこもり 等
- ・相談内容に応じて、**専門の機関に繋げるなどのハブ的役割**を担う



◆eスポーツを活用した多世代交流の推進

- ・リアルとデジタルを融合し、年代の枠を超え楽しめる
eスポーツイベントを実施
- ・若い世代による**ICT座談会**など、市民の交流を創出

スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
市民の「やってみたい」実現プロジェクト	整備 →	みんなの会議の開催、イベント実施など	→
誰もが自分の気持ちを気軽に話せる場の創出	整備 →	話せる場の開催	→
eスポーツを活用した多世代交流の推進	整備 →	eスポーツイベントの実施	→

空き家を改修し、こどもから高齢者まで誰もが気軽に立ち寄り、心理的サポートも受けられる地域交流拠点を整備

事業内容

◆地域住民が気軽に立ち寄れる居場所の創出

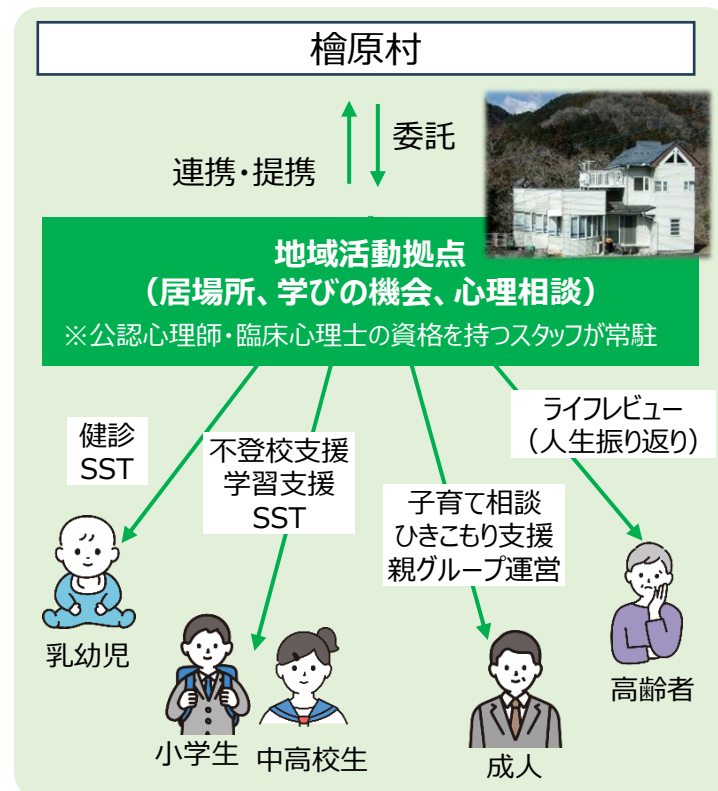
- ・空き家を改修し、地域住民が気軽に立ち寄れる居場所を創出
- ・**常駐するファシリテーター（公認心理師）が交流のサポート**も提供
- ・SNSを活用したPRにより、多くの人の交流につなげる

◆居場所を通じた学びの機会の提供

- ・住民意見をイベントや居場所運営に反映するためのワークショップを開催
- ・子育て世代向けのペアレント・トレーニング、**多世代交流型のイベント**（茶話会や勉強会、趣味を語る場）等、交流を促す様々なイベントを企画・実施
- ・YouTubeやZoomなどオンラインツールを活用し、場所や時間を限定しない学びの機会を提供
- ・子どもへのSSTや、少人数での学習会や自習スペースの提供
- ・保護者交流会など、悩みの共有やピアサポートの機会を提供

◆専門職の相談によって、心身や生活をサポート

- ・居場所内に**個別相談・家族相談窓口**を設置（オンライン相談にも対応）
- ・公認心理師によるカウンセリングや心理検査等の心理的支援の実施
- ・**心理的なケアから、福祉サービスや社会へのつながりまでをサポート**



スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
空き家の改修・整備	→		
居場所支援		→	
相談窓口		→	

「産・官・民」協働で「福祉・交流・防災」を一体整備し、賑わいと有事の安心感を創出する常設型共生拠点

事業内容

◆交流拠点：「島メシ」と「スキル」の交換所

・島メシ伝承食堂（地域食文化伝承事業）

高齢者が先生となり郷土料理をふるまう食育の場の創出。備蓄食材の活用に加え、「子供食堂」機能を展開することで地域全体の見守り体制を強化

・互助型寺小屋（世代間技能交換事業）

子どもは宿題を、高齢者はスマホ操作を相互に教え合うことで、双方向に役割がある関係性を構築

・小商い支援：軒先を「チャレンジショップ」として住民に開放

◆福祉拠点：「まめ」な仕事で支え合う

・地域手しごと工房（就労訓練・特産品開発）

障がいを持つ方々が、地域の特色を活かした水引アクセサリやマグネットステッカーなどを制作し、島の新たな特産品としてブランド化。就労支援と地域経済の循環を両立

・見守りデリバリー：独居高齢者宅へ弁当を届け、安否確認を行う

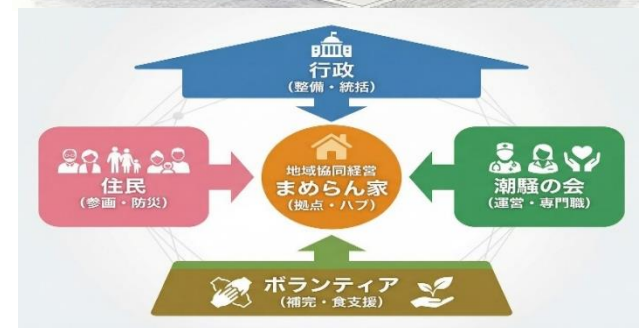
・ユニバーサル農園：敷地内で野菜を育て、島メシ伝承食堂で提供

◆防災拠点：日常の延長にある備え

・コミュニティ冷蔵庫：余剰食材をシェアし、日常備蓄と助け合いを促進

・プチ避難キャンプ：敷地内でテント泊体験で、避難への抵抗感を解消

・デジタル防災マップ：多世代で村内を歩き、危険箇所をアプリで共有



スケジュール	令和8年度	令和9年度	令和10年度
造成・建築設計	→		
造成・建築本体工事		→	
ソフト事業	→	→	→